

## 消費者のパプリカに対する認知度・需要に対する調査結果

県内産パプリカへのニーズは高い

情報経営部 情報チーム TEL:022-383-8119

### 研究の目的

近年、様々な西洋野菜が店頭に並んでいます。今回は、パプリカの取扱数量や価格の推移、消費者の認知度や県産品パプリカへのニーズを明らかにしました。

### 研究成果

パプリカの取扱量は全国的に見ても増加傾向にあります。国産パプリカは全取扱量の約1割と少ない現状です。

パプリカはここ数年で消費者によく購入されるようになってきていますが、その購入理由は「彩り」と回答している人が最も多く、栽培する場合にはどんな色が好まれているかを考えた作付けも必要と言えます。

消費者がパプリカを購入する際に重視する要素は、生協組合員、一般消費者ともに「産地」「価格」「大きさ」の順となっています。また、「産地」の項目の中では「県内産」を重視している割合が大きく、県産品パプリカのニーズが高いことが言えます。

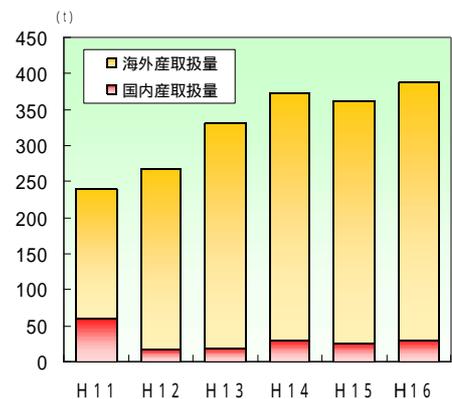


図1 仙台市中央卸売市場におけるパプリカ(ジャンボピーマン)の取扱数量

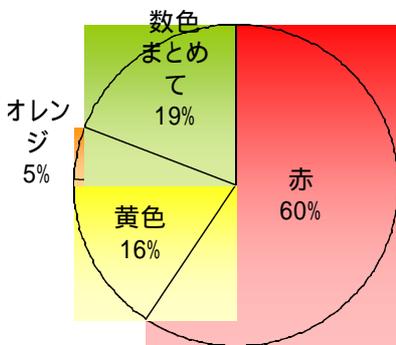


図1 何色を購入しますか  
注) 生協組合員(109名)  
・一般消費者(120名)へのアンケート調査より

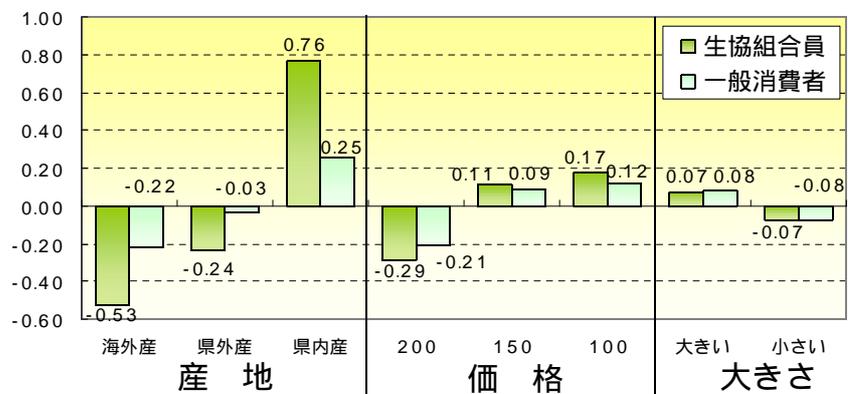


図2 各項目の中での選好割合  
(コンジョイント分析 部分効用値)

注) 数値が+のものは選好度が高いものである。

### 普及等の見込

宮城県農業・園芸総合研究所では、宮城県の気候を活かした夏秋期穫りパプリカの栽培試験も行っています。今回の地元産パプリカへの消費者ニーズの高さからみても、今後パプリカ栽培は有望と言えます。

宮城県  
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地  
TEL: 022-383-8111(代表) FAX: 022-383-9907(代表)  
ホームページ: [http://www.pref.miyagi.jp/res\\_center/](http://www.pref.miyagi.jp/res_center/)  
E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)